

鹿南 県高校新V

1600 男子リレー

九州 高校総体

陸上

2022年度全九州高校体育大会は19日、各地でバドミントンなどがあつた。陸上は男子1600リレーで鹿児島南が3分11秒67の県高校新記録で頂点に立った。男子三段跳びの太田芳栄(鹿南)、女子3000リレーの力バ・カロライン(神村学園)、同七種競技の片野坂唯月(鹿児島)も優勝した。

体操は出水商が男子団体の4年ぶり2度目の栄冠に輝いた。ホツケ1男子の川薩清修館は準決勝に進み、3年ぶりの全国総体出場を決めた。サッカーの神村学園は男女そろって決勝に進出、女子は全国総体を決めた。自転車男子4000リレー競走は杉野翔一(南大隅)が制し、レスリング女子個人は樟南勢2人が全国大会出場権を獲得した。

【男子】
▽2000リレー ①平川慧(神村・コザ) 21秒52②宮下(松陽) ③1100リレー ①鹿田祐平(宮崎南) 14秒44②平田(松陽) 14秒63③松下(鹿児島) 15秒13甲

▽3000リレー ①宮城新来(神村・名護) 9分22秒75②佐久間(鹿城西) 9分27秒75③西川(出木中央) 9分30秒00
▽1600リレー ①鹿南(須田・金城・太田・坂元) 3分11秒67②豊高校新、大会新③松陽 3分15秒75④鹿南
▽三段跳び ①太田芳栄(鹿南) 14尺7寸11②風参考③大内山(甲南) ④新留(国分)
▽内閣投げ ①照屋留重(神村・那覇西) 45尺10寸②大原(鹿南)

43尺8寸③上原(同) 43尺7寸④西田(同)
【女子】
▽2000リレー ①山形愛羽(熊本中央) 24秒48②下野(鹿南) 25秒33
▽3000リレー ①力バ・カロライン(神村) 8分58秒90②田島(同) 9分24秒67③上野(同) ④藤元(鹿児島)
▽1000リレー ①鳥丸沙葵(熊本・九州学院) 14秒55②有川

14秒57③住吉(鹿児島) 14秒64④柳田(同)
▽1600リレー ①熊本商(多賀・松本・前田・岡井) 3分50秒83②鹿南③鹿南④鹿南
▽走り高跳び ①那須美咲(宮崎南) 1尺70寸②今村(甲南) 1尺64寸③若吉(鹿女)④西川(鹿児島) ⑤早瀬(甲南)
▽七種競技 ①片野坂唯月(鹿南) 4473点②1000リレー 鹿南 15秒17、走り高跳び1尺11、砲丸投げ9尺34、2000リレー22秒、走り高跳び5尺31、やり投げ38尺、8000リレー41秒63②福留(鹿女) 4088点③高橋(鹿児島)
※登録目6位 七種競技は原則(熊本・九州学院) 14秒55②有川 3位、またが全国大会 8月3、

7日・徳島県に出場



男子1600リレーを県高校記録、大会記録で制した鹿児島南
＝沖縄市陸上競技場(沖縄タイムス提供)

精鋭4人 進化の予感

真っ赤なユニホームの、黄色い「M」がトラックを駆け抜けた。鹿南の精鋭4人は男子1600リレー(マイル)の県高校記録を、6年ぶりに更新する大会新。全国の強豪と渡り合える好記録に、新開浩一監督は「県記録を目標にしていた。熊本工業としてのぎをけずり、力が引き出された」とたたえた。

ハイライト
1走須田はスタートラインで胸に手を当て「連覇する」という先輩との約束を思い出した。ライバルは昨年、最後まで競り合った熊工だ。2日前の400リレーは同着1位で、互いに強く意識していた。

「マイルで決着をつける。この日たたき出した3分11秒67は、昨年の全国総体優勝タイムを上回る。それでも3年太田は「バトンパスなど修正すべき点はまだある。油断しない姿勢は、さらなる進化を予感させられる。」(永山一樹)

「。須田は持ち味の力みのない走り好位置につけ、先頭集団で2走へ。成長著しい1年金城が、がむしゃらに集団から抜け出し先頭へ。直前に三段跳びを制し3冠を決めた太田が堅実につなぎ、アンカー坂元が切れ味鋭い走り締めた。

選手層の厚さもチームの底上げにつながっている。4人に加えて、400リレーで全国切符を手にした西窪、昨年のリレーメンバーの主将川上も控える。